

氏名	萬代眞哉
学位(専攻分野)	博士(医学)
学位授与番号	博乙第 2607 号
学位授与の日付	平成 5 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Direct thrombosis of aneurysms with cellulose acetate polymer Part I : Results of thrombosis in experimental aneurysms (セルロースアセテートポリマーによる動脈瘤の直接塞栓術：第 1 部 実験的動脈瘤に対する塞栓術の結果)
論文審査委員	教授 折田 薫三 教授 佐野 俊二 教授 原岡 昭一

### 学位論文内容の要旨

近年、直接手術困難な脳動脈瘤に対して、血管内手術による治療が試みられている。著者らは、動脈瘤内腔を、塞栓させることができる液体塞栓物質を考案し、実験的に作成した動脈瘤に対して塞栓術を行った。酢酸セルロースを主成分とする新塞栓物質は、血液中に注入されると球状に膨らんで、すぐに表面から固まり始め、約 5 分間で中心部まで固形化した。また、動脈瘤内腔に入れると、動脈瘤の形に応じて腔内を充填し、完全に動脈瘤を閉塞させ、しかも親動脈の血流を温存することができた。また、塞栓物質に接した血管壁には、ごくわずかの炎症細胞しか認められなかった。この塞栓物質による動脈瘤の塞栓術は簡単、安全で有用であると考えられた。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論文審査の結果の要旨

脳動脈瘤破裂は極めて重篤なる結果を招来するため、種々の治療法がある。

本研究者は、酢酸セルロースを主成分とする新塞栓物質を開発し、透視下で自由に動脈瘤を塞栓することが可能で、2 週間後には血管内皮により被覆されるということを知り、PS の悪い患者にも安心して非観血的に容易に応用しうる新しい方法を確立している。臨

床上極めて有益であり，本研究者は博士（医学）の学位を取得する資格ありと認める。